

探究の共同体に基づく学習環境構築のための コミュニケーションスペースツール選定表の試作

A Prototype of a Selection Table of Communication Space Tools for Building a Learning
Environment Based on Community of Inquiry

鈴木真保*

鈴木克明**

戸田真志*

合田美子*

Maho Suzuki*

Katsuaki Suzuki**

Masashi Toda*

Yoshiko Goda*

*熊本大学

**武蔵野大学

*Kumamoto University

** Musashino University

＜あらまし＞ COVID-19に関連し、教育分野で利用可能なコミュニケーションツールの選択肢が拡大した。類似のサービスも多数あり、選定の際に効果・効率的なツール選定が難しい状況にある。担当者の好みなどによって選定され、学習者の不便を引き起こすことも懸念される。筆者らは、社会構成主義に起源をもつ探究の共同体フレームワークを用いて学習環境を構築する際のコミュニケーションスペースツールの選定で活用できる表（確認表）のプロトタイプを作成した。この表を用いて諸ツールを検討すると、適切なツールを選定できると考える。

＜キーワード＞ 探究の共同体, Community of Inquiry, コミュニケーションツール

1. はじめに

COVID-19に際して、教育分野で活用できるオンラインツールの選択肢が増加した。類似ツールも多く、ツール選定に時間がかかり、妥当性を検討しにくい状況にある。新しいツールの発表、ツールの機能変更などがあつた際に、見直すことも難しい。ツール導入の際にチェックリストとして活用できるツールが必要だと考え、とくに「探究の共同体（Community of Inquiry: CoI）」に沿って設計する学習環境に適用するオンラインコミュニケーションスペースツールなどの選定に利用可能なものを作成した。

2. 探究の共同体フレームワーク

Garrison らによって提唱される CoI は社会構成主義の流れをくむフレームワークで、オンラインでの協調的な学習環境を設計する際のフレームワークとして活用されている。これは教授的存在感、社会的存在感、認知的存在感の3つの存在感が互いに関連しあつて学びを構成するとし、それを支援する (Garrison 2017)。

3. オンラインコミュニケーションスペース ツール選定の確認項目

オンラインコミュニケーションスペースツール選定の確認項目表に記載されている事柄は、表1のとおりである。実際に確認する際

には、この表の右横に記入欄の列があるものを用い、「項目の説明」で記載されている内容をテキストで記入していく。

料金は CoI と関連のない事項であるが、金額的に条件に合わない場合には導入が不可能なため、最初に記入する項目とした。最低契約期間や最低契約人数が設定されているサービスが少なくないため、その点も注意する。その他のメリット・デメリットを記載する欄は、サービス独特のメリットなどを特記する。導入支援者が慣れている場合や、他のサービスにない機能がある場合など記載する。

その他の項目は、CoIに関連する項目である。「対応する CoI」列に CoI 要素の記載があるが、それぞれが絡み合う関係のため、複数記載されているものもある。オンラインコミュニケーションスペースツールは、CoI 要素のうち社会的存在感の支援に利用可能なことが多いため、その項目が多い。他の CoI 要素については別ツールなどで補完するため、その接続についても記載するようになっている。

4. 使用と今後について

本確認項目表の利用で、導入時の選定の妥当性確保のみならず、一定期間後のツール選定の再検討にも活用できる。本表自体をアップデートしつつ、サービス毎の調査項目を蓄積することでより妥当で迅速な判断が可能となる。こうした改善と蓄積を行う。

参考文献
Garrison, D. R. (2017) *E-learning in the 21st Century: A community of inquiry*

framework for research and practice,
3rd edition, Routledge, New York

表1 オンラインコミュニケーションスペースツール選定の確認項目

サービス名 (URI)			
項目	項目の説明	下位項目	対応する CoI
料金	導入に際して必要な金額を記載する。 料金体系の記載とあわせて、概算で必要な金額を見積もる。無料で利用できる範囲はあるか、予想される上限の人数が参加した場合の料金、下限の人数の料金を試算する。そのほか、最低契約期間・人数など予算に関わる懸念事項を洗い出す。	料金ページ URI	
指示が確実に伝えられるような仕組みがあるか	いつログインしてもインストラクションが見えるような仕組み（掲示板など）があるか、記載する。 その有無のみならず、見やすいか、目に入りやすいか、文字で伝えられるか、画像など直観的に伝わるような工夫ができるかも記載する。		教授的存在感
参加者が自分の状況に合わせた参加の方法を選べるか	邪魔をされたくない場合の集中モードがあるか、議論したいテーマごとに参加者が自由にグループを選べる仕組みがあるかなど、参加者のニーズに合わせた参加の方法が選べるかを記載する。		教授的存在感 社会的存在感
柔軟な双方向のやり取りは可能か	挨拶やフィードバックを送り合うなど、柔軟な双方向のやり取りが可能か、チャットのスレッド化やメッセージの送信先の細かな設定などが可能か記載する。 (例：ブレイクアウトルーム類似機能の有無、ダイレクトメッセージ、グループメッセージ、全体へのメッセージなど宛先の選択可能性など) 気軽にコミュニケーションが取りやすそうか、予期していなかった出会いを提供できそうかも記載する。	テキストチャット ビデオチャット ボイスチャット 一期一会的コミュニケーションの実現	教授的存在感 社会的存在感 社会的存在感 認知的存在感
存在感（プレゼンス）を示せるか	発言などをしなくても「そこにいる」ということを示せるか、参加者がどのような状況にあるのかを示せるか記載する。 (アバター、ステータス表示など)		社会的存在感
簡単に感情を示せる仕組みがあるか	いいね！や拍手など簡単に感情を示せる仕組みがあるか、また、その方法や種類について記載する。		社会的存在感
外部のリソースへと繋ぐ仕組み（外部リンクの設定など）	ウェブサイトなど外部リソースや、参加者のアウトプットを非同期的に蓄積できる場へのリンクなど、外部へ繋ぐ仕組みがあるか、記載する。		認知的存在感
その他のメリット	その他、特記すべきメリットがある場合には、記載する。		
その他のデメリット	その他、特記すべきデメリットがある場合には、記載する。		
許容できないデメリット	許容できないデメリットがある場合、チェックを付け、候補から外す (当該項目を記載する)		
選定結果・コメント			